

スコアシート		重点評価項目: W 省エネルギー・省資源、G 緑化、S 雪処理								
配慮項目	重点評価項目			環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体	
	W	G	S		評価点	重み係数	評価点	重み係数		
Q 建築物の環境品質・性能									2.9	
Q-1 室内環境							0.30		3.6	
1 音環境							4.6	0.15		4.6
1.1 騒音							5.0	0.40		
1 暗騒音レベル							5.0	1.00	3.0	
2 設備騒音対策										
1.2 遮音							4.6	0.40		
1 開口部遮音性能							5.0	0.60	3.0	
2 界壁遮音性能							4.0	0.40	3.0	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)							3.0		3.0	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)							3.0		3.0	
1.3 吸音							4.0	0.20	3.0	
床にカーペットタイルを採用										
2 温熱環境							2.6	0.35		2.6
2.1 室温制御							3.2	0.50		
1 室温設定							3.0	0.30	3.0	
2 換気・加湿・除湿制御										
3 外皮性能					W		4.0	0.20	3.0	
4 ゾーン別制御							3.0	0.50		
5 温度・湿度制御										
6 個別制御										
7 時差・外気調節に対する配慮										
8 監視システム										
2.2 湿度制御							2.0	0.20	3.0	
2.3 空調方式							2.0	0.30	3.0	
3 光・視環境							3.3	0.25		3.3
3.1 昼光利用							3.0	0.30		
1 昼光率							3.0	0.60	3.0	
2 方位別開口									3.0	
3 昼光利用設備					W		3.0	0.40	3.0	
3.2 グレア対策							3.0	0.30		
1 曇りガラスのガラス										
2 昼光制御					W		3.0	1.00	3.0	
3.3 照度							2.0	0.15		
1 照度							2.0	1.00	3.0	
2 照度調整										
3.4 照明制御							5.0	0.25	3.0	
机ブロック毎に回路別けしリモコンスイッチにて個別点灯を計画										
4 空気環境							4.7	0.25		4.7
4.1 発生源対策							5.0	0.50		
1 化学物質汚染							5.0	1.00	3.0	
2 化学系塗料対策										
3 デニ・カビ等										
4 レジオネラ対策										
4.2 換気							4.3	0.30		
1 換気量							5.0	0.33	3.0	
2 自然換気性能							3.0	0.33	3.0	
3 取り入れ外気への配慮							5.0	0.33	3.0	
4 給気計画										
4.3 運用管理							4.5	0.20		
1 CO ₂ の監視							4.0	0.50		
2 喫煙の制御							5.0	0.50		
ほぼ全面的にF☆☆☆☆を採用										
建築基準法の1.4倍以上を確保										
外気取入れ給気口は排出口の面と異なる面とし6m以上の離隔を確保										
環境衛生管理基準に沿ったマニュアル作成により手動で測定										
専用の喫煙スペースの設置に伴い分煙化を実施										
Q-2 サービス性能								0.30		3.0
1 機能性							2.6	0.40		2.6
1.1 機能性・使いやすさ							1.6	0.60		
1 広さ・収納性							1.0	0.33	3.0	
2 高度情報通信設備対応							3.0	0.33	3.0	
3 バリアフリー計画							1.0	0.33		
1.2 心理性・快適性							4.0	0.40		
1 広さ感・景観							4.0	0.33	3.0	
2 リフレッシュスペース							5.0	0.33		
3 内装計画							3.0	0.33		
2 耐用性・信頼性							2.9	0.31		2.9
2.1 耐震・免震							3.0	0.48		
1 耐震性							3.0	0.80		
2 免震・制振性能							3.0	0.20		
2.2 部品・部材の耐用年数							3.2	0.33		
1 外壁仕上げ材の補修必要間隔					W		3.0	0.29		
2 主要内装仕上げ材の更新必要間隔					W		3.0	0.12		
3 配管・配線材の更新必要間隔					W		4.0	0.29		
4 主要設備機器の更新必要間隔					W		3.0	0.29		
2.3 適切な更新										
1 床土(床板)・外壁仕上げ材の更新										
2 配管・配線材の更新										
3 主要設備機器の更新										
2.4 信頼性							2.4	0.19		
1 空調・換気設備							3.0	0.20		
2 給排水・衛生設備							4.0	0.20		
3 電気設備							1.0	0.20		
4 機械・配管支持方法							1.0	0.20		
5 通信・情報設備							3.0	0.20		
節水型衛生器具の採用及び雑排水、汚水等配管経路を極力分別										

スコアシート		重点評価項目: W 省エネルギー・省資源、G 緑化、S 雪処理							
配慮項目	重点評価項目			環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
	W	G	S		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
3 対応性・更新性					3.7	0.29	-	-	3.7
3.1 空間のゆとり					4.6	0.31	-	-	
1 階高のゆとり				階高3.95m	5.0	0.60	3.0	-	
2 空間の形状・自由さ				壁長さ比率0.2以上確保	4.0	0.40	3.0	-	
3.2 荷重のゆとり					3.0	0.31	-	-	
3.3 設備の更新性					3.6	0.38	-	-	
1 空調配管の更新性				配管ピット及びスリーブにて対応	3.0	0.17	-	-	
2 給排水管の更新性					4.0	0.17	-	-	
3 電気配線の更新性					3.0	0.11	-	-	
4 通信配線の更新性					3.0	0.11	-	-	
5 設備機器の更新性				設備機器搬出入スペース、必要開口部の確保を計画	5.0	0.22	-	-	
6 バックアップスペースの確保					3.0	0.22	-	-	
Q-3 室外環境(敷地内)					-	0.40	-	-	2.4
1 生物環境の保全と創出		G			2.0	0.40	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮		G		近隣建物と調和する外観をイメージ	4.0	0.20	-	-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮					2.0	0.40	-	-	2.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			S		2.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上	W	G			2.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性									3.0
LR-1 エネルギー					-	0.40	-	-	3.1
1 建物の熱負荷抑制	W					-	-	-	
2 自然エネルギー利用					3.0	0.29	-	-	3.0
2.1 自然エネルギーの直接利用	W				3.0	0.50	-	-	
2.2 自然エネルギーの変換利用	W	S			3.0	0.50	-	-	
3 設備システムの高効率化	W				3.0	0.43	-	-	3.0
4 効率的運用					3.5	0.29	-	-	3.5
4.1 モニタリング	W				3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制	W			年間消費エネルギーの把握	4.0	0.50	-	-	
LR-2 資源・マテリアル					-	0.30	-	-	3.0
1 水資源保護					3.6	0.15	-	-	3.6
1.1 節水	W			衛生設備など節水器具を採用	4.0	0.60	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水再利用					3.0	0.40	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無	W				3.0	0.67	-	-	
2 雑排水再利用システム導入の有無	W				3.0	0.33	-	-	
2 低環境負荷材					2.9	0.85	-	-	2.9
2.1 資源の再利用効率					2.3	0.35	-	-	
1 躯体材料の再利用効率	W				3.0	0.67	-	-	
2 非構造材料の再利用効率	W				1.0	0.33	-	-	
2.2 持続可能な森林から産出された木材	W				2.0	0.04	-	-	
2.3 有害物質を含まない材料	W			有害物質を含まない材料を使用	5.0	0.08	-	-	
2.4 既存建築躯体などの再利用	W				3.0	0.18	-	-	
2.5 部材の再利用可能性	W				3.0	0.18	-	-	
2.6 フロン・ハロンの回避					3.3	0.18	-	-	
1 消火剤	W			ハロンは使用しない	4.0	0.33	-	-	
2 断熱材	W				3.0	0.33	-	-	
3 冷媒	W				3.0	0.33	-	-	
LR-3 敷地外環境					-	0.30	-	-	2.9
1 大気汚染防止	W				3.0	0.15	-	-	3.0
2 騒音・振動・悪臭の防止					3.0	0.10	-	-	3.0
2.1 騒音					3.0	0.33	-	-	
2.2 振動					3.0	0.33	-	-	
2.3 悪臭					3.0	0.33	-	-	
3 風害、日照阻害の抑制					1.6	0.10	-	-	1.6
3.1 風害の抑制					1.0	0.70	-	-	
3.2 日照阻害の抑制					3.0	0.30	-	-	
4 光害の抑制				タイマーによる適切な点灯時間設定、必要ヶ所への照射を計画等	5.0	0.05	-	-	5.0
5 温熱環境悪化の改善	W	G	S		1.0	0.30	-	-	1.0
6 地域インフラへの負荷抑制					4.8	0.30	-	-	4.8
6.1 雨水処理負荷抑制	W			敷地内での浸透樹、浸透トレンチ管の設置	5.0	0.30	-	-	
6.2 汚水処理負荷抑制					3.0	0.10	-	-	
6.3 交通負荷抑制			S	大型の車両出入口及び必要駐車台数の確保	5.0	0.30	-	-	
6.4 廃棄物処理負荷	W			分別可能な大型塵芥庫の設置	5.0	0.30	-	-	

LR-1 用途別点表		工場	-	-	-	面積按分
		3,479 m ²	-	-	-	総合スコア
1 建物の熱負荷抑制		-	-	-	-	-
3 設備システムの	ERRIによる評価	-	-	-	-	3
高効率化	個別設備による評価	3.0	-	-	-	
3.1 空調設備		-	-	-	-	-
3.2 換気設備		-	-	-	-	-
3.3 照明設備		3.0	-	-	-	-
3.4 給湯設備		-	-	-	-	-
3.5 昇降機設備		-	-	-	-	-